

平成28年度大垣市教育振興基本方針評価委員会第2回会議録

- 1 **と き** 平成28年7月14日（木） 9:30～11:50
- 2 **と ころ** 大垣市役所北庁舎北館1階 教育委員会室
- 3 **出席者** 平野順一委員長、矢橋和江副委員長、田村弘司委員、三代広子委員、
高橋美和子委員、田中良幸委員、古宮山信義委員、川合美穂子委員
- 4 **事務局** 山本教育長、安田事務局長、馬淵庶務課長、立川学校教育課長、
細江教育総合研究所長、藤社会教育スポーツ課長、
中井文化振興課長、鈴木文化振興課文化財専門官、
大谷上石津地域教育事務所長、加藤墨俣地域教育事務所長、
中山南部北部学校給食センター所長、奥田図書館長、
高木まちづくり推進課長、杉田市民活動推進課長、
川合子育て支援課長、宇野子育て総合支援センター所長
伊藤庶務課主幹、川瀬庶務課主査
- 5 **傍聴者** 1人
- 6 **議 題**
- (1) 平成27年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について
- ① 図書館分野
- ② 生涯スポーツ分野
- ③ 芸術文化・文化財分野

7 会議録

開会 9:30

発言者	発言内容
馬淵 庶務課長	皆さん、おはようございます。本日は、大変、お忙しいところ、平成28年度大垣市教育振興基本方針評価委員会の第2回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます大垣市教育委員会庶務課長の馬淵でございます。よろしく

発言者	発言内容
	お願いいたします。それでは、はじめに、山本教育長よりご挨拶をお願いいたします。
山本 教育長	皆さん、おはようございます。本日は午前中からということで、本当にお忙しい中、ありがとうございます。前は様々なお立場から積極的なご意見をいただき、ありがとうございました。特に、B評価をA評価に変えていただくなど、あたたかいご意見もいただき、重ねてお礼申し上げます。今日は、図書館、スポーツ、文化の3分野について、ご意見をいただきます。あたたかくそして厳しいご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
馬淵 庶務課長	ありがとうございました。それでは次第の3、議題に移らせていただきます。これよりの進行につきましては、平野委員長様にお願いいたします。
平野 委員長	おはようございます。ただいま教育長さんより、厳しいご意見をという、うれしいお言葉もいただきました。日頃、委員の皆様方には考えていただいていることもいろいろあるかと思いますが、こういう機会でない、直接、教育長さんのお耳に届くこともありませんので、どうぞよろしくお願いいたします。 なお、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。それでは、これより、議事に入ります。はじめに、議題の(1)「平成27年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について」の①の図書館分野について説明をお願いいたします。
奥田 図書館長	<資料説明> 別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（図書館分野）
平野 委員長	ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。
田中 委員	大垣市の図書館の蔵書数は、県内では多い方でしょうか。また、どれくらいの冊数なのでしょう。
奥田 図書館長	児童図書、AV資料等も含め、大垣市、上石津、墨俣の3館合わせて、約50万冊ございます。図書だけですと約44万冊です。県内だと県図書館がやはり多いですが、3番・4番ぐらいの多さになりますので、人口規模からするとそれ相応の順位に位置しています。
田中 委員	岐阜市の図書館はすごくかっこよくなって、びっくりするくらい立派

発言者	発言内容
	な環境で充実している印象を持ちましたが、大垣市の図書館もそのような蔵書数を増やすなど、充実をしていこうという考えはあるのでしょうか。
奥田 図書館長	先ほどの説明の補足ですが、市の中では、1番が岐阜市で、2番が各務原市、3番目が大垣市になります。蔵書については書庫との関係もあり、図書資料は保存していくことが原則になりますので、廃棄することがなかなか難しく、図書館の書庫は、ほぼ満杯状態であり、廃棄を進めながら新しい図書を入れていく中で、ガラッと入れ替えることは難しいのですが、その都度、時代に応じた本とか、特に市民の方が情報を求めている生活や暮らしの図書を中心に、できるだけ利用していただけるよう入れ替えをしております。岐阜市のようにハード環境を整備してということは、なかなか難しい現状のため、できる範囲で頑張っているところです。
田中 委員	大垣の図書館は、蔵書数は今以上に増やせない状況なののでしょうか。
奥田 図書館長	第2次読書活動推進計画の中には、新しく分館をつくるような計画はございませんが、図書館にお越しいただかなくても、各地区センターで本をご覧いただくことができる地域文庫として、図書館の蔵書を地域の地区センターに預け、書庫が空いたスペースに新しい図書を補充する形で、入れ替えを進めております。
田中 委員	大垣市も質量ともに充実し、立派な図書館にしてほしいと思います。
平野 委員	数字を見ると、各地区センターにある地域文庫が25か所で約1万冊ということは、1か所あたり約400冊ということになりますが、どのような本を中心に置いているのでしょうか。また、昔からある寄贈された本も数に入っているのでしょうか。それから、今必要な本は何かという精査はされているのでしょうか。
奥田 図書館長	資料に記載のある配本冊数の1万冊は、平成27年度中に入れ替えをした本の冊数になりますので、実際にある図書は約1万5千冊で、およそ3分の2を入れ替えております。主に文学や児童書が中心で、その中には新刊もまぜながら、できるだけ地域に応じた形で配本し、入れ替えしております。月に1回程度のペースで新しい本が入るように巡回して入れ替えておりますが、スペースの問題もあり、たくさん本棚があり広いスペースがある地区センターには多く配本できる一方、手狭なスペースしかない地区センターには、なかなか本が置けない状況もあり、

発言者	発言内容
	場所に依じて、司書が選書しています。また、利用者の方からのリクエストだと思いますが、地区センターの館長さんの中には、このような本を中心に置いてほしいと言われる方もいらっしゃいますので、そのような声を聞きながら、できるだけご要望に応じる形で配本しております。
平野 委員長	今の説明からも、先ほど田中委員が言われたように、そろそろ図書館の施設そのものについて考えてはどうかと思います。というのは、最近、自分で本を作って寄贈したいと申し出る方がいまして、断られることが多いようです。スペースが不足しているため、充実できないということであれば、そういう方向も考えていかなければと思います。地区センターは公民館的な施設ということで、運営していただいていると思いますので、図書館の分館という意味と、独立した小公民館として何ができるのかということを考えていただきたいと思います。
平野 委員長	昨日、今日のために図書館に行ってきました、最近はやりの本を借りようと思いましたが、貸出中で順番待ちでしたが、年内は無理であるとのことでした。待ちきれなければ自分で購入することになりますが、図書館がどこまで庶民の希望に沿えるのか、とても難しいことだと思います。また、応対していただいた方は、本の場所や大きな字の本がないかなど、いろいろ調べていただけるととても親切な方でした。ただ、空調が故障していてとても暑かったです。
平野 委員長	「利用者に対応したサービスの充実」の中に記載のある、「DAYSY」とは何のことでしょうか。
奥田 図書館長	視聴覚用の資料で、目の不自由な方が耳から本を聞くものになります。
平野 委員長	普通に皆さんご存知の言葉なのでしょうか。
奥田 図書館長	自分も図書館で勤務するまで知りませんでした。一般の健常者の方はあまりご存じないかもしれませんが、視聴覚障がいのある方は、ご存知の方が多いと思います。
平野 委員長	一般の方が読んで分かる言葉にしていきたいと思います。
奥田 図書館長	承知しました。
平野 委員長	図書館だよりについてですが、私立の幼稚園には配布しているのでしょうか。

発言者	発言内容
奥田 図書館長	私立の保育園には配布しておりますが、私立の幼稚園は定かではございませんので、配布していないようでしたら、至急配布することにしたします。
平野 委員長	広報・PRの充実ということであれば、予算的に無理でなければ、充実していただければと思います。
平野 委員長	それから、読書手帳の普及について、内容を教えていただきたいと思います。
奥田 図書館長	これは、図書館をあまり利用しない世代や、図書館をはじめて利用する若い世代の方に興味を持ってもらうということで、イメージとしてはお薬手帳のようなもので、自分がどのような本を読んだのかを記入しながら、楽しんでいただくものです。銀行通帳のような、手帳を専用の機械に入れると、本の名前や金額まで印字されるものもありますが、大垣市の場合は、読書ノートということで備忘録のようなものになっております。
平野 委員長	郷土資料の整備事業について、データベース化の目標は何件ぐらいで、現在の進み具合はどの程度になるのでしょうか。
奥田 図書館長	現在の進捗状況は、3分の2ぐらいでございます。郷土関係の古文書が中心ですが、整理できている分が3万1千件ほどございます。このうちの2万2千件が目録としてデータベース化されており、残り1万件弱をデータベース化したいと考えています。
平野 委員長	それを行う際、選択や順番を決めるのはどのような方なのでしょうか。
奥田 図書館長	嘱託の専門員がいますので、その方々につくっていただいた順番で実施しております。
田村 委員	岐阜市のメディアコスモスは総合施設なので、図書館だけを見ればそれほどすごいとは思わないのですが、総合施設として市民が気軽に立ち寄れる空間をつくっている施設としては素晴らしいと思っています。そのような意味で、スイトピアセンターも図書館を核に、知の拠点として、行くだけでも楽しいとか、市民が集まりやすい施設として工夫をした方がいいと思うのですが、駐車しにくいという問題がありまして、わずかですが駐車料金を取っていることでハードルを高くしていると思います。駐車代を無料にできないかということと、トータルの知の拠点となる像を構想できないかということを思います。 また、新庁舎の建設が話題になっていますが、庁舎の中に図書室のよ

発言者	発言内容
	うな部屋を設け、行政について調べたいことがあった時、その部屋でまとめて情報を得ることができるといった、部屋をつくる考えはあるのでしょうか。また、サラリーマンはなかなか利用しにくいので、大垣駅の中で図書を借りたり返したりできないかと思っています。 さらに、子ども達の読書についてですが、アメリカの研究によると、読書に親しむ量が増えれば増えるほど、学力が高く、読書量と学力は比例しているという調査結果があります。子どもの頃から読書習慣を自然につけるということはよい事ですが、子ども達はいつでも図書館に行けるわけではないため、学校図書館や地区センター等を充実させることができればよいと思います。
矢橋 副委員長	岐阜市のメディアコスモスは総合施設なので、図書館としては大垣市の方がよいと感じています。以前は貸出して自宅で読むという形が多かったのですが、図書館で1日ゆっくり本を読むという環境については大垣の図書館の方が適していると思います。 蔵書の問題については、数年前からどんどん増やしていくことはできない状況があります。書庫だけ建設することは簡単にはできないと思いますが、蔵書のスペースを広げていただけると、市民のニーズに応えていけるとと思いますので、市全体の課題として考えていただきたいと思います。 寄贈本は大垣の図書館は受け付けているのでしょうか。
奥田 図書館長	郷土の関係のものは、すべて受け入れる方針で寄贈いただいています。ただ、一般書については、図書館にすでにある同じものについてはお断りしていますし、状態の程度問題もありますので、すべてを受け入れているわけではございません。
矢橋 副委員長	読書ノートはどちらかというと子ども向けのため、大人向けのものがあるとよいと思います。
川合 委員	小学校だと、何冊読んだか目標を立てて読書する取り組みをしている学校もあると思いますので、読書ノートは、図書館を利用した時だけではなく、子どもが学校の図書館で本を借りた時にも、反映できるとよいと思います。 以前、市の駅前再開発の関係で、東京のカフェスタイルの図書館を視察したことがありましたが、問題もあるかと思いますが、上手に運営しているようでした。そのような視察を事業の一環として行っている

発言者	発言内容
	のであれば、そういった情報を市役所内の横のつながりで活かしていければと思いました。
平野 委員長	私の知る限り、このような会議になると、昔から必ず駐車場の話が出てきますが、私も先日図書館に行きましたが、やはり30分はかかってしまいます。いつごろを目途に市は考えるのでしょうか。そろそろ考えてもよいのではないのでしょうか、いますぐ答えられることではないと思いますが。
奥田 図書館長	先月の図書館協議会でも駐車場の課題について、委員さんから叱咤激励をいただきましたので、図書館としては、強く要望していきたいと思います。
中井 文化振興課長	駐車場については、学習館、文化会館、コスモドーム、図書館を利用していただくための駐車場ということで、所管は文化振興課で、管理は文化事業団に委託しているものでございます。委員さんからのご意見は、重々受け止めさせていただいており、今後改善をしていかなければならないとは考えておりますが、私どもといたしましては、図書館を利用される方もいれば、音楽を聞きに来られる方、ホールを利用される方、美術を鑑賞される方などいらっしゃいますので、それらの方々に公平に負担していただくというお願いのもとで、図書館の利用者の方にも200円を前納していただいている状況でございます。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし
平野 委員長	それでは、総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、②の「生涯スポーツ分野」について、事務局から説明をお願いいたします。
藤 社会教育スポーツ課長	〈資料説明〉 別添資料No.2 大垣市教育振興基本方針評価シート（生涯スポーツ分野）
平野 委員長	それでは、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
平野 委員長	少年スポーツ活動推進事業（再掲）欄の「育成母集団」とはどういう意味ですか。
藤 社会教育スポーツ課長	スポーツ少年団の保護者の方の会で、お母さん方が主体の会のことです。
平野 委員長	体育施設トイレ改修事業で北公園のトイレ改修がされており、学校で

発言者	発言内容
	もトイレが洋式化されつつありますが、文化会館では洋式のトイレは増えましたでしょうか。
中井 文化振興課長	全てというわけではないですが、計画的に少しずつ各フロアで洋式化させていただきました。昨年、矢橋委員からご指摘いただいた箇所について、昨年度末に検討させていただきましたが、直前に、電気系統の故障があり、トイレの洋式化まで予算を回せなかったため、今年度、予算をやりくりして、なんとかやっつけようと思います。そこを洋式化できれば、各フロアに洋式トイレが備わってくると思います。
矢橋 副委員長	文化会館の1階もでしょうか。一番利用するところが一番遅れているようですが。
中井 文化振興課長	見過ごされたところがあったようですので、何とかやっつけようと思います。
平野 委員長	高齢者は、足腰も弱く本当に困っている方もいらっしゃいますので、ぜひ、よろしくお願いいたします。
三代 委員	基本施策①の指標1、指標2と、基本施策④の指標1、指標2の実績値についてですが、それぞれ運動したい人はたくさんいるけれど、活動する場所がないので不満であるという意味でしょうか。
藤 社会教育スポーツ課長	施策①の満足度の意味合いは、施設の使いやすさに対する満足度で、例えば、施設を使いたいときにいつもいっぱい使えないというもので、施策②については、施設内の設備や環境に対する満足度でございます。
田中 委員	体育施設は、体育連盟に管理してもらっていますが、どの施設も利用が集中する時期がありますが、上手に運営していただいていると感じていますので、満足度も高くなると思います。
川合 委員	基本施策③の指標1「体力調査結果の8種目合計点」についてですが、何年か前に、女子は全国平均を上回っているが、男子は下回っていると伺ったことがあります。男女別の実績値は出ているのでしょうか。
立川 学校教育課長	昨年度の結果を見ると、若干ですが全国平均より低い値となっておりますが、男女ともに小学校入学当初の低学年では全国平均より低く、高学年になると全国平均並み、中学生になると全国平均を上回るという結果になっております。
平野 委員長	学校施設開放については、使用後の管理は、使用者が管理をしなければならぬと思いますが、最終的には、どこかに管理してもらって

発言者	発言内容
	るのでしょうか。
藤 社会教育 スポーツ課長	地元の体育振興会に管理していただいておりますが、施設が故障した場合等は、社会教育スポーツ課で対応しております。
平野 委員長	戸締り等は、使用者が行うということでしょうか。
藤 社会教育 スポーツ課長	使用後のモップ掛け等の掃除や戸締りは、使用者にお願いしております。それがされてないため学校から苦情があれば、社会教育スポーツ課から指導させていただいております。
高橋 委員	体力向上研究開発事業について、モデル校である江東小学校の進捗状況と課題について教えていただきたいと思います。また、部活について、スポーツ少年団の加入率が26.7%ですが、中学校に進学した時に、自分に合った部活に入れる状況なのかどうか、また、入れないために文化系に入ることにより、運動嫌いをそのまま継続させてしまうことは、健康寿命を伸ばすことに影響を与えてしまうのではないかと思います。そのあたりのお考えを伺いたいと思います。
立川 学校教育 課長	江東小学校については、昨年度から実施しており、現在は、今年度のスポーツテストの結果を待っている状況です。体育の授業の中で、子ども達の運動量をいかに確保しながら力をつけていくのかということを中心に取り組んでいます。また、休み時間に遊べる環境づくりということで、遊具を使いサーキット運動ができるよう工夫しています。特に握力が弱いため、遊具を使ってどのような遊びを行うと効果的か、子ども達と一緒に遊びながら、教師が指導しております。今年、完成したばかりですが、「江東体操」をつくって、運動会等も含め取り組みながら、その成果について、今年度の中間発表で位置付けながら、各校に広めていこうと考えております。 部活動については、基本的にはどの中学校も全員加入することになっております。少年団やクラブチームで活動している子もいますが、そういった子も含めて、部活動に加入していただいております。
藤 社会教育 スポーツ課長	補足しますと、最近クラブチームもミナモソフトボールでジュニアをつくっていただきましたが、部活動にない競技については、民間でクラブをつくっていただいているものもあります。今あるのは、水球、フェンシングですが、中体連には参加できない問題があるため、そこがネックになっております。それから少年団でも中学、高校まで加入できるものもありますが、主に武道系の競技になりますので、やはり、

発言者	発言内容
	少年団の競技と中学校の部活の競技が接続できない部分は課題であると考えております。
高橋 委員	特に、女子に関しては、取りつきの部分の少年団に、入りたい競技が少なく、加入のしづらさから運動嫌いにつながっていないか心配です。
矢橋 副委員長	一般的なことですが、最近は小学生が外で遊ぶ姿をあまり見かけなくなりましたが、学校の先生はどうお考えになっているのでしょうか。
古宮山 委員	学校では、不審者や交通事故等、危険な状況を避けるため、5時には家に帰るように指導しています。外で遊ぶことはよいことだと思っていますが、ボール遊びをしてはいけないという公園のルールもありますので、ルールを守って周りの人に迷惑をかけず遊ぶよう、指導しております。
立川 学校教育課長	学校へ行くと、どの小学校でも休み時間には、子どもは校庭に出て遊んでいますので、遊びたいという欲求は子ども達は持っていますし、学校で遊びの楽しさを実感させることが、帰宅してからの外遊びにもつながっていくのではないかと思います。
山本 教育長	矢橋委員の言われるとおり、子どもの運動量は減っていると思います。とりわけ問題であると思うのは、子どもたちの遊びが変わってしまったことだと思います。一昔前は外で遊ぶことが中心でしたが、今はゲーム等に遊びが変化してしまっているため、学校でいくら運動をさせても、家庭や地域で運動させることがなかなかできない状況にあります。そのあたりをどうしていくのかを考えないと、この問題は難しいと思います。以前、綾里小学校が研究指定校事業の中で、保護者の方と連携しながら、地域での運動量を増やすように取り組みましたが、そういうことがこれからも大事なことだと思います。
田村 委員	コミュニティスポーツの推進の中で、高齢者・障がい者のスポーツ活動の充実という項目がありますが、現状の市の取り組みは何があるのでしょうか。
藤 社会教育スポーツ課長	どちらかというと福祉分野で取り組んでいる部分が多く、高齢者スポーツは高齢介護課、障がい者スポーツは障がい福祉課になりますが、相対的に見ますと、私どもとしては、競技スポーツも大事ですが、生涯スポーツとして軽スポーツをもっと推進していきたいと考えております。元気ハツラツ市に合わせて、年4回ぐらいみんなのスポーツとし

発言者	発言内容
	てクロリティという輪投げやお手玉のような、子どもからお年寄りまでみんなのできるようなスポーツを、地域のスポーツ推進委員会の方に地域でも広めていただき、イベント時には市の中心部でも市民の方にも広めていただいております。そして軽スポーツの祭典であるスポーツレクリエーション祭をやらせていただいております。これからは体に負担の少ない簡単にできるスポーツも大事であると思っております。
高橋 委員	体育連盟ではスポーツ教室を行っておりますし、市ではかがやき成人学校に健康に関わる講座があります。スポーツについては体育連盟で高齢者向けの「こりとり体操」とかネーミングも考えながら、年間120講座を3期に分けて、託児もしながら生涯スポーツにつながる活動をしております。
川合 委員	中学校に進学し、部活動を選択する際、少年団あがりの方の子どもの方が上手なため、レギュラーにはなれないという考えが親にも、子ども達の中にもあり、文化系の部活を選択する子もいるようです。スポーツなので、勝とうとすることは間違いだとは思いますが、部活動は勝つことだけがすべてではないとも思いますので、選択する際に、はじめて挑戦しようとする子にも、間口を広げて上手に対応していただけるとよいと思います。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし
平野 委員長	それでは、総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、③の「芸術文化・文化財分野」について、事務局から説明をお願いいたします。
中井 文化振興課長	<資料説明> 別添資料2―大垣市教育振興基本方針評価シート（芸術文化・文化財分野） 先日、修正させていただきましたが、基本施策①につきまして、当初、総合評価をAとさせていただいておりましたが、指標2「芸術文化活動に取り組む市民の割合」について、実績値が目標の83%にしか至っておりませんので、総合評価をBに修正をお願いいたします。
平野 委員長	それでは、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

発言者	発言内容
田中 委員	文化会館も奥の細道むすびの地記念館もとてもたくさん利用していただいていると感じています。芭蕉元禄事業は予算面も含めて縮小したのでしょうか。東西俳句相撲は文化会館から総合福社会館に場所が変更されていますが。
中井 文化振興課長	東西俳句相撲は、もともと芭蕉生誕360年を記念して、ゲストも呼んでエンターテインメント的に、俳句を東西に分かれてトーナメント制で競う形で始めました。昨年度から学校では、ふるさと大垣科で俳句の授業を行っておりますが、むすびの地記念館でさまざまな俳句の行事等活動を行う中で、俳句文化の交流という側面から東西俳句相撲を盛り上げていこうということで、学校の子どもの作品の公表の場と位置付けて、予算的にはゲストをお呼びしない分減りましたが、実施させていただきます。
田中 委員	俳句協会に移管されたのですか。
中井 文化振興課長	東西俳句相撲については、実行委員会として、私どもの方で事務局をさせていただきます。
田中 委員	俳句協会の会長は替わったのですか。
中井 文化振興課長	俳句協会の会長は、田中青志様から大堀武直様に替わっております。
田中 委員	東西俳句相撲は、ゲストの予算が結構かかる人が多いことも含めて、なかなか難しい事業だと思っていたのですが、市長や議長も参加するととても楽しい催しだと思います。また、俳句に熱心な先生の赴任先の学校では、夏休みの宿題にも毎日俳句作りがあるなど、子ども達は大変ではあったけれど、一生懸命俳句の勉強をするなど、俳句文化を根付かせることができていたので、尻すぼみにならないようにしていただきたいと思います。
中井 文化振興課長	大垣市では俳人の夏井いつきさんに学校を回っていただき、句会ライブを行っています。夏井さんは俳句を通じて子ども達と会話をしたい、会話をするための俳句ですと、ライブを通じて広めています。俳句を上手に作るということは1つの目標かもしれませんが、大垣科で進めている授業や初心者の方には、俳句を通じてコミュニケーションを高めたり、四季折々の自然を感じたものを言葉に表したり、イベントや大会もやりながら、深めていきたいと思っています。

発言者	発言内容
田中 委員	知名度のある芭蕉を使いながら事業を進めていけば、大垣は文化面でメジャーになっていくと期待しています。
平野 委員長	大垣まるごとミュージアム構想推進事業もありますが、大垣にはいろんな専門的な文化施設がたくさんあり、施設がもう少しまとまっているとよいと思うのですが。
田中 委員	市外から観光で来てもらった時に、車でしか移動できないため、バスを上手に巡回させることができるとういのですが。
鈴木 文化財専門官	私どもでは、歴史文化施設を10施設所管しております。ご指摘いただきましたように、総合的な施設がないということが弱点ではございます。ただ、ハードのことになりますので、簡単には改善は難しいところでございますが、各館連携を深めることは必要であろうということで、まるごとミュージアムの事業を進めております。各施設に行くと、他の施設のことが分かる案内やパンフレットの整備はしております。この事業も周遊性や関連性を高めていく事業として進めておりますので、その中で、文化遺産と各施設をつなぐような「文化遺産カード」というものを作成、配付したり、文化遺産と各施設をつなぐようなツアーを開催し、市外の方も含めて知っていただく取り組みも進めたりしております。ご指摘いただいた方向性で連携を深めていくよう取り組んでおりますので、ご理解いただきたいと思います。
平野 委員長	カードというのはどのようなものでしょうか。
鈴木 文化財専門官	大垣市独自の取り組みではなく、愛知県のNPOの企画になりますが、施設の写真を撮って、その写真をその施設で見せるとカードがもらえる仕組みになっております。大垣市内には24種類ございます。
矢橋 副委員長	芭蕉記念館の中の展示室の入館者数は、現在はどれくらいでしょうか。
中井 文化振興課長	年々10%ぐらいずつ減少しており、年間3万2千人ぐらいの入館者です。
矢橋 副委員長	どこでも同じでしょうが、開館時は多いのですが、その後は関心のある方だけになってしまうということですね。
中井 文化振興課長	ただこの人数は、この2年ぐらいは、ほぼ横ばいのため、この数字で落ち着いて維持していけば、全国的な有名な歴史博物館並の数字ではないかと理解しております。

発言者	発言内容
矢橋 副委員長	記念館には入ったことがあるけど、展示室は入ったことがないという方がかなりいらっしゃるようです。
中井 文化振興課長	企画展をする時、同じ人で4年目になりますが監視するアルバイトの方が1人いまして、その方の来館者との話によると、昨年ぐらいから、記念館が大垣にあること知って、それを目的として来館している方が、かなりいらっしゃるということで、そういう方が増えているということと、遠方からいらっしゃる方で雨が降った場合に記念館の見学がちょうどよかったという声を聞くこともあり、当初予想した減少は確かにありますが、時間をかけた、それなりのクオリティのPRが結果につながっているという実感はあります。
平野 委員長	展示室は有料でしたでしょうか。
中井 文化振興課長	65歳以上と高校生以下は無料で、それ以外の方は有料です。
矢橋 副委員長	昼飯大塚古墳と同じ地域の、金生山化石館はとてもよい施設だと思いますので、もっとPRしてほしいと思います。
鈴木 文化財専門官	化石館の入館者は昨年度、およそ5,700人ぐらいでした。立地的には行きにくい場所但也有ありますが、かなり多くの方に入館していただいております。建物としては、もともと寄附していただいた建物のため、構造的に他の公共施設と比べると見劣りする部分もありますが、年2回企画展を開催しており、リーフレット等をHPに毎回掲載したり、文化遺産カードの配布場所にもなっており、眺望もよいことから、私どももお客様の誘導を図るように紹介させていただいたりしておりますので、ご指摘のように、取り組みを継続してまいりたいと思います。
平野 委員長	埋蔵文化財は、道路をつくる時など工事をする時でないと、見ないものなのですか。ポイントを決めて調査をしようとして見つけることはないのでしょうか。
鈴木 文化財専門官	埋蔵文化財は、地面の下にある遺跡と呼ばれるもので、人類の発祥から江戸時代までの人間の活動の痕跡で、長い期間にわたるものを指しています。市内にある場所は、大体把握していますので、公共事業により影響を受ける可能性があるときに調査をするものです。
平野 委員長	自治体をまたいだ埋蔵文化財もあるかと思いますが、そういう場合、隣接する市町と共同で調査することはあるのでしょうか。

発言者	発言内容
鈴木 文化財専門官	調査を連携して行うことは難しい部分もありますが、昨年度開催した、古墳サミットを実施した日の午前中に、古墳探訪ということで、池田町や大野町の古墳を巡るツアーを企画し実施しました。毎年ではありませんが、このような連携した取り組みも行っております。
田中 委員	旧清水家住宅が整備され、赤坂の町も観光客等に立ち寄っていただける場所ができ、よかったのではないのでしょうか。
鈴木 文化財専門官	平成26年度に整備し、平成27年度から一般の方にもご覧いただいております。市の重要文化財として指定をしております、非常に古い建物で、文化財的価値の高いものでございます。これまで建造物は、残すだけでしたが、土日祝日は開放して、一般の方にも見ていただいております。また、まちづくりの会議や、コーラスや美術品の展示など、できるだけ地域の活動に使っていただいております。昨年度の利用者は約4,700人で、開館日数の割には、多くの方にご利用いただいていると思います。保存と活用の両面から取り組んでおります。
田中 委員	二期工事は終わったのでしょうか。
鈴木 文化財専門官	今年度予定しております。一部スタートしておりますが、中庭の景観整備も含め、北側にある土蔵の整備をさせていただいております。
田中 委員	昼飯大塚古墳などの史跡の説明は、資格を持った方しかできないのでしょうか。次の世代の、そのような資格保有者を育成することも大切なことだと思いますが。
山本 教育長	市としても学芸員については、中井課長や、鈴木専門官の次の世代の方にも、世代ごとに続けていけるように考えております。
平野 委員長	芭蕉記念館は、新しくて見栄えもしますが、他の市町村から観光に来ても、ちょっと休憩できるような飲食店がないと、例えば、芭蕉という文化が伝播していかないということもあり得ますので、観光協会にも考えてもらえたらと思います。
矢橋 副委員長	先ほどの赤坂の町でもそうですが、観光中に、少し休憩できるような飲食店が、大垣市は全体として少ない気がします。
平野 委員長	せっかくの文化財なので、額の中に入れて飾っておくだけではなく、お客様に来館してもらい見たり触ったりしてもらうことが目的だと思いますので、そうできる環境があるとよいと思います。
平野 委員長	それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。
各委員	異議なし

発言者	発言内容
平野 委員長	それでは、総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。最後に、全体を通じて、何かご意見等はございませんでしょうか。
平野 委員長	私自身は、近所を散歩することがありますが、市民の健康保持増進の点からも、高齢者にも安全なウォーキングコースを各校区に1か所ぐらいずつ、整備してもらえるといいと思います。
高橋 委員	実は、スポーツ推進委員の方が、ヘルシーウォークの前身を、各校区に体育振興会で作っています。それを追加修正する形で、今は、保健センターが34コース作っています。そのPR用の冊子もあるのですが、市民の方へのPRが不足しているようで、関係者しか知らないという現状になっています。
平野 委員長	ぜひ、他の部局とも連携していただきながら、市民の方に広く周知していただきたいと思います。
矢橋 副委員長	かがやき成人学校や、スポーツ教室など、毎年募集しているのですが、同じ方が何年も同じ講座を受講していることが多いため、それらの方は初めから上手にできることと、初めて参加すると、すでに仲間ができていることから、その中に入りづらい状況になっています。参加経験者と初参加者を分けて講座を行うなど、何かよい方法はないでしょうか。
杉田 市民活動課長	毎回アンケートを実施しており、そういった声は、聞こえてきております。企画提案時と開講時に講師の先生には、初めて参加される方へのフォローを優先していただくようお願いしておりますが、不足している部分もありますので、今後も引き続きお伝えしてまいりたいと思います。申込者が少ない講座では、参加経験者がいる場合でも、初心者だけに限って講座を開講することは難しいため、初参加者と一緒に開講することはあります。
安田 事務局長	本日は、いろいろ貴重なご意見いただきありがとうございました。過去からある課題もございまして、解決したものもありますが、難しいものばかりが積み残されてしまっているという現状です。この会でも、その他の会でもご指摘はいただいておりますので、当然、何も考えてないわけではありませんが、さまざまな状況により、実現できていないものがありますので、努力させていただきたいと思います。
山本 教育長	本日は、いろいろありがとうございました。耳の痛いご意見もいただきましたが、今後の参考にさせていただきたいと思います。今日の会

発言者	発言内容
	議はこれで終わりますが、これからもいろいろお会いすることもありますので、耳の痛いご意見をいっぱいお聞かせください。ありがとうございました。
馬淵 庶務課長	委員の皆様には、2日間にわたり6分野の取り組みについて、ご意見をいただきありがとうございました。会議での意見を、今後の取り組みに活かしていきたいと存じます。ご承認いただきました、評価の結果につきましては、8月の定例教育委員会、9月の市議会で報告させていただきます。また、本日いただいた評価結果だけにとらわれず、アンケート調査でいただいたご意見を受け止めながら、できるものから順番に、取り組んでまいりたいと思います。これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。本日はご出席賜り、誠にありがとうございました。